

RIPE, RIPE NCC

Réseaux IP Européens, RIPE Network Coordination Centre

RIPEでは、年3回のミーティングや分野別に分かれたワーキンググループにおいて積極的な議論や研究を行い、成果をコミュニティに提供

RIPEは、汎ヨーロッパのIPネットワーク運用者によるボランティアな組織で、ネットワーク運用上の問題点に関する議論、研究や調整を行っている。その活動は非常に活発で、年3回5日間に渡って開催されるミーティングや分野別に分かれたワーキンググループにおいて、積極的な議論や研究が組織だっで行われ、その

www.ripe.net

問い合わせ先

RIPE NCC

ncc@ripe.net
+31-20-535-4444
+31-20-535-4445

成果がコミュニティに提供されている。

RIPE NCCはこのようなRIPEの活動の一部として1990年に発足し、APNIC、ARINとともに、ICANNの統括のもと、ISPにアドレス割り振りを行う地域インターネットレジストリー（RIR: Regional Internet Registry）である。そのサービス範囲はヨーロッパを中心として北アフリカと中近東の一部までを含む。RIPE NCCのアドレス割り振り割り当てポリシーは、RIPEのLIRワーキンググループなどで議論され、コンセンサスの形成が行われる。

RIPE自体の活発さを背景に、RIPE NCCでは技術的アクティビティーも充実、

トラフィック計測、RIS（Routing Information Service）という世界各地のインターネットの経路制御状況の収集蓄積、自身で開発しフリーで提供されているデータベースシステムの3つがその主なものである。

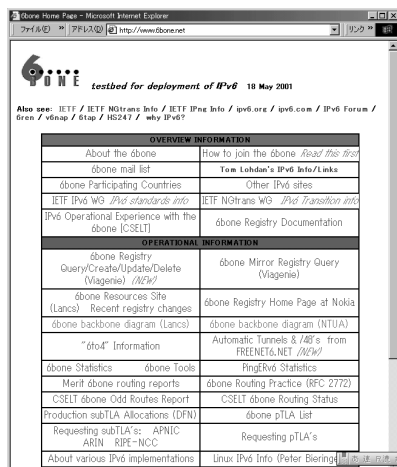
2001年5月現在、RIPE/NCCには66名のスタッフと、2600を越える会員が存在している。1年前は55名のスタッフ、会員数2000だったことを考えるとやはりその規模の拡大はめざましい。

（前村昌紀 グローバルワン/JPNIC IPアドレス検討部会主査）

6Bone

シックスボーン

IPv6を利用した広域ネットワーク。現在、安定した運用するための技術や経験の蓄積、経路制御に関する実装と、検討などを行う



www.6bone.net

6Boneとは、IPv6(Internet Protocol version 6)を利用した広域ネットワークである。ここ数年でIPv6に関してはさまざまな議論、実装、実験が行われてきており、現在のInternet Protocol (IPv4)の次にInternetで広く利用されることになるであろう。

6Boneでは、現在、安定した運用を行うための技術や経験の蓄積、経路制御に関する実装、検討などが行われており、大部分のIPv6 NetworkではRIPngやBGP4 Multiprotocol Extension (BGP4+)が利用されている。

IPv6の開発、研究やその運用に関する研究は、日本においても非常にさかんで

あり、この面では世界でもトップレベルにあると見てよいだろう。

特に、動的経路制御に関してはRIPngやBGP4+だけでなくOSPFv3の実装や実際の運用試験も行われており、そのほかにもさまざまなプラットフォームを採り入れた相互運用も行われている。

また、IPv6における接続サービスが開始され、IPv6をサポートしたネットワーク機材も増えており、IPv6への移行が着実に進んでいるといえるだろう。

（許先明 (HEO SeonMeyong) インターネット総合研究所 主任研究員）

Jump 6Boneダイアグラム図

www.cs-ipv6.lancs.ac.uk/ftp-archive/6Bone/Maps/backbone.gif
www.dbnet.ece.ntua.gr/6bone/



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp